

2017年度 苦情・事故状況

<事故>

日時	内容	結果	検証及び課題
6月	・午睡前、布団に横になっている際に床を蹴って動いていた為、本児の左腕(手首と肘のあたり)に手を添えて止める。その後、左手首を痛がり泣く姿が見られた。	・左腕の肩関節・肘関節・手首に触れ腫れがないか確認する。看護師がバンザイが出来るか問うが嫌がって行わなかった。手を握れるかどうか問うと左手での離握手は可能であった為、処置は行っていない。以前、家庭でも腕が抜ける事があった為、念のため病院を受診する。診断結果は特に問題なし。	・午睡前に動いていた事から保育者が咄嗟に左腕を持って止めるという行動をとったが、家で腕が抜けた事もあり、本児にとって恐怖心が芽生えた可能性が大きい。保育者の関わり方や対応の方法を振り返り、職員全員で改めて周知する。今回の場合であれば本児の手を引くのではなく、体幹に手を添え、保育者の方へ引き寄せる方法が適切であった。

<苦情>

日時	内容	結果	検討及び課題
	・特になし		

2017年8月31日現在